

看護研究実践演習

ナンバリング:N4-S3-J17

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、地域包括ケア講座、成育看護学講座、看護専門基礎講座		
対象学年	4	区分/単位数	演習/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

看護に関する自己の研究課題に対して、「看護研究」で作成した研究計画書に基づき、データの収集および分析を通して、調査結果の解釈から考察を行い、最終的には研究論文としてまとめる。適切な研究の手順を実際に経験することで、研究プロセスの一連を学び、基礎的な研究遂行能力を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

指導教員の指導のもと、看護研究の過程を通して研究手法を習得する。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
---	---

・到達目標(SBO)

1. 指導を受けながら、研究のプロセスを理解することができる。
2. 研究結果を分析し、解釈することができる。
3. 指導教員が示す規定の執筆要領に従い、研究論文を作成することができる。
4. 研究者に求められる倫理的態度を習得することができる。

・授業日程

【演習】

会場：看護研究配属先ごとに定める

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員	
担当教員毎に授業日程を調整	【授業内容】 研究計画書の見直しと研究の進め方確認 到達目標: 研究計画の目的と方法論を再確認し、必要に応じて計画を調整する。 【関連するSBO】 1, 2, 4 【事前学修:30分】 研究計画書を再読し、目的、方法論、仮説の内容を整理する。 【事後学修:30分】 ゼミでのフィードバックを元に研究計画書の改訂を作成する。	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 佐藤 奈美枝 教授 柏木 ゆきえ 准教授 伊藤 奈央 准教授 小林 由美子 講師 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 松田 悠史 講師 畑中 るり子 助教 成育看護学講座 高橋 亮 教授 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 伊東 佐由美 講師	
	【授業内容】 研究手法の詳細な検討と倫理的考察 到達目標: ①選択した研究手法によるデータの収集、分析、解釈の手順を理解する。 ②研究が倫理委員会の審査を必要とするかどうかを検討する。 【関連するSBO】 1, 2, 4 【事前学修:30分】 ①選択した研究手法に関連する文献や資料を読む。 ②研究倫理の基礎知識、特に人を対象とした研究の倫理的考慮を学修する。 【事後学修:30分】 ゼミでの議論をもとに、研究手法及び、倫理的考察を深める。		
	【授業内容】 データ収集の準備 到達目標: データ収集に必要なツール(同意書・調査票・インタビューガイド等)や手順を準備し、試験的にデータ収集を行う。 【関連するSBO】 1, 2, 4 【事前学修:30分】 データ収集ツールを考え、作成する。 【事後学修:30分】 ゼミでの指導のもとに、データ収集ツールの調整を行う。		
	【授業内容】 データ収集の開始 到達目標: 計画に従って本格的なデータ収集を開始する。 【関連するSBO】 1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】 データ収集プロセスの手順や注意点を復習し、準備する。 【事後学修:30分】 実際のデータ収集での経験を振り返り、問題点や改善点をメモする。		地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 岩淵 光子 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教 赤井 純子 助教 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教
	【授業内容】 データ収集の進捗確認 到達目標: 収集したデータを見直し、データ収集等の問題点を特定して対処する。 【関連するSBO】 1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】 収集したデータの初期分析と整理の方法を学修する。 【事後学修:30分】 ゼミでのフィードバックを活用してデータ収集方法を改善する。		
	【授業内容】 データの分析方法の確認 到達目標: 収集したデータを分析するための適切な方法を検討する。 【関連するSBO】 1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】 選択したデータ分析手法に関する文献を再読する。 【事後学修:30分】 ゼミでの議論をもとに、分析方法を再検討する。		
	【授業内容】 データの分析開始 到達目標: 具体的なデータ分析を行い、初期の結果を得る。 【関連するSBO】 1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】 分析ツールを使用して、分析を進める。 【事後学修:30分】 実際の分析結果を振り返り、疑問点や不明点を整理する。		

担当教員毎に授業日程を調整	<p>【授業内容】分析結果の評価 到達目標:分析結果を評価し、研究仮説との関連を考察する。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】分析結果の解釈や信頼性と妥当性、仮説との関連など考える。 【事後学修:30分】ゼミでの議論を踏まえ、分析結果の再評価を行う。</p>	<p>共通基盤看護学講座 野里 同 教授 佐藤 奈美枝 教授 柏木 ゆきえ 准教授 伊藤 奈央 准教授 小林 由美子 講師 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 松田 悠史 講師 畑中 るり子 助教</p> <p>地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 岩淵 光子 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 館向 真紀 講師 菊池 佑弥 助教 赤井 純子 助教 藤澤 純子 助教 五日市 瑠美子 助教</p> <p>成育看護学講座 高橋 亮 教授 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 伊東 佐由美 講師</p> <p>看護専門基礎講座 遠藤 龍人 教授 塚本 恭正 准教授 一ノ渡 学 講師</p>
	<p>【授業内容】結果の解釈と論文の草案作成 到達目標:分析結果を解釈し、研究論文の草稿(下書き:初稿)を作成する。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】研究結果の報告方法や論文の構成について考える。 【事後学修:30分】ゼミでの議論をもとに、草稿(下書き:初稿)を作成する。</p>	
	<p>【授業内容】論文の草案のレビュー 到達目標:草案を見直し、改善点を特定する。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】論文全体の論理的な流れが明確であるかを考え、草稿を修正する。 【事後学修:30分】ゼミのフィードバックを踏まえて草稿を修正する。</p>	
	<p>【授業内容】最終論文の作成 到達目標:見直した内容を踏まえ、最終論文の完成を目指す。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】データをわかりやすく伝えるための表やグラフを作成する。 【事後学修:30分】ゼミでの議論をもとに、最終論文を作成する。</p>	
	<p>【授業内容】発表の準備 到達目標:研究成果を発表するためのプレゼンテーションを作成する。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】効果的なプレゼンテーション技術に関する学修を行う。 【事後学修:30分】ゼミの指導を受けて発表内容をブラッシュアップする。</p>	
	<p>【授業内容】最終発表の準備 到達目標:最終発表の内容を確定し、プレゼンテーションを洗練させる。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】プレゼンテーションを効果的に行うためのチェックリストを作成する。 【事後学修:30分】最終発表のリハーサルを行い、自己評価する。</p>	
	<p>【授業内容】予行演習とフィードバック 到達目標:予行演習を通じて発表の質を向上させ、指導教員からのフィードバックを得る。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】自己評価をもとに、発表練習を繰り返す。 【事後学修:30分】予行演習の経験を振り返り、最終調整を行う。</p>	
	<p>【授業内容】最終発表 到達目標:最終発表を通じて研究成果を共有し、フィードバックを受ける。 【関連するSB0】1, 2, 3, 4 【事前学修:30分】最終確認と心構えの準備を行う。 【事後学修:30分】発表の反省と今後の課題を特定する。</p>	

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	※各指導教員の指示による			

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】事前・事後学修の取り組み(20点)、ゼミでの議論(20点)、プレゼンテーション(30点)、論文の内容(30点)
(ゼミ開始時に、ルーブリック評価表を配布する。)

【形成的評価】適宜、進捗状況についての説明を求め、学習内容、理解度の確認を行う。

DP	SB0	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
4	1~4			60	20		20	100
合計		0	0	60	20	0	20	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・上記の授業内容、事前・事後学修の内容は目安であり、ゼミの進め方については指導教員と相談し、各自修正しながら実施する。
- ・課題に対するフィードバックも、ゼミの議論の中でフィードバックする。
- ・演習ではグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを実施し、研究実践力の向上を図る。

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

病院等における看護職の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(EPSON EB-L610WVPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(ELMO PX-10)	1	講義用資料投影